

新たな門出祝いテープカット

明日へと響け 復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復旧や復興の様子を紹介します

被災市街地復興土地区画整理事業の基盤整備が完了した湊北地区

新たなまちの門出を祝ったテープカット



湊北地区「まちびらき式」

市の被災市街地復興土地区画整理事業の基盤整備が完了した湊北地区で11月24日、「まちびらき式」が開かれました。湊町一丁目復興住宅南側に整備された「1号公園」でセレモニーを実施。地区住民ら約100人が出席し、東日本大震災の被害を乗り越え、新しく生まれ変わった「まち」の門出を祝いました。

初めに式を主催した住民組織「湊北地区合同街づくり協議会」の佐藤彰会長が「新しい道路、公園、緑地、住宅地が整備され、都会風に生まれ変わった新しいまちが、震災前にも増してにぎやかになることを心から期待しています」とあいさつ。亀山市長が祝辞を述べ、「新たな門出を迎えた湊北地区が、子どもからお年寄りまで笑顔があふれるまちとして発展してほしい」と期待しました。

続いて、市区画整理課の担当者が平成26年7月に工事着手した土地区画整理事業の概要を説明。佐藤会長、亀山市長や湊小学校児童代表ら8人がテープカットしてセレモニーを締めくくりました。

あいにくの雨のため、予定した湊小学校鼓笛隊のパレードや風船飛ばしは中止になりましたが、用意した100個の鳩型の風船の一部は訪れた子どもたちに記念品としてプレゼントされました。また、地域コミュニティ醸成のきっかけにしようと来場者には紅白餅と石巻焼きそばが振る舞われました。

市担当者からの事業概要説明に耳を傾ける出席者



主催者を代表して
あいさつする佐藤会長



来場者には紅白餅と焼きそばが振る舞われた



子どもたちには記念品の風船などをプレゼント

図 区画整理課(内線5586)